

「オンライン診療・往診サービス」認知度は69.6% 興味がある人で「ダウンロード・登録をしている」人は26.9% ダウンロード・登録率&利用率 1位「ファストドクター」2位「みてねコールドクター」

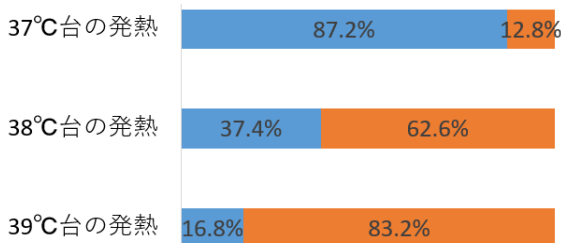
園児とママ・パパの情報誌「あんふあん」「ぎゅって」を発行する株式会社こどもりびんぐ（所在地：東京都千代田区、代表取締役：藤田基予）は、「シルミル研究所」としてリサーチ事業を展開しています。今回、シルミル研究所では「オンライン診療・往診サービス」をテーマに全国のママ・パパを対象とした調査を実施。その結果の一部を紹介します。

■子どもの37℃台の発熱、普段と同じ様子だと「家で様子を見る」派が85.9%

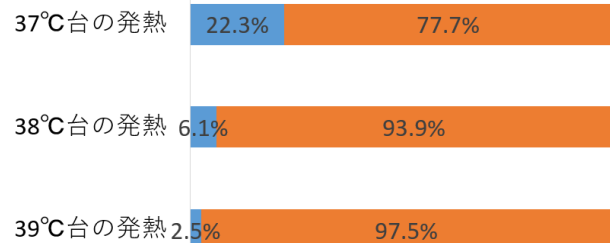
未就学児の子どもがいるママ・パパ(有効回答数358)に、子どもの状態（発熱の度合い／普段の様子との違い）で「家で様子を見る」「病院に連れて行く」どちらの判断をするかを聞きました。発熱がないときは、「普段と様子が違う」と「病院に連れて行く」人は9.8%、一方「具体的に体の不調を訴えている」場合は50.3%と約半数のママが「病院に連れて行く」と回答しました。発熱した場合は、下記グラフの結果となり、多くのママにとって、子どもの様子が普段と違うことが、「病院に連れて行く」判断の軸にあるようです。

Q 子どもの下記の状態について、「家で様子を見る」「病院に連れて行く」どちらかを教えてください（n=358）

<普段と同じ様子>



<普段と様子が違う>



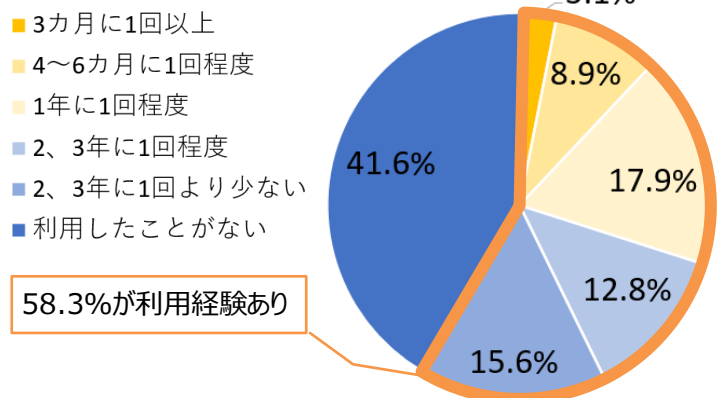
■ 家で様子を見る ■ 病院へ連れて行く

夜間・救急診療利用経験者は約6割、2割のママが救急車を呼んだ経験あり

休日・夜間の子どもの急な体調不良などで、小児科医師・看護師に電話で相談できる「#8000」（子ども医療電話相談）。利用したこのある人は52.8%で、その頻度を聞いたところ、6カ月に1回以上が9.2%、1年に1回程度が16.5%でした。また、夜間・救急診療の利用については右のグラフの通り。約6割の人は利用経験があり、1年に1回程度利用する人が最も多く17.9%でした。

子どもの急な体調不良で救急車を呼んだことある人は19.6%。最も多い症状は「熱性けいれん・けいれん」で47.1%、次いで「けが」20.0%でした。

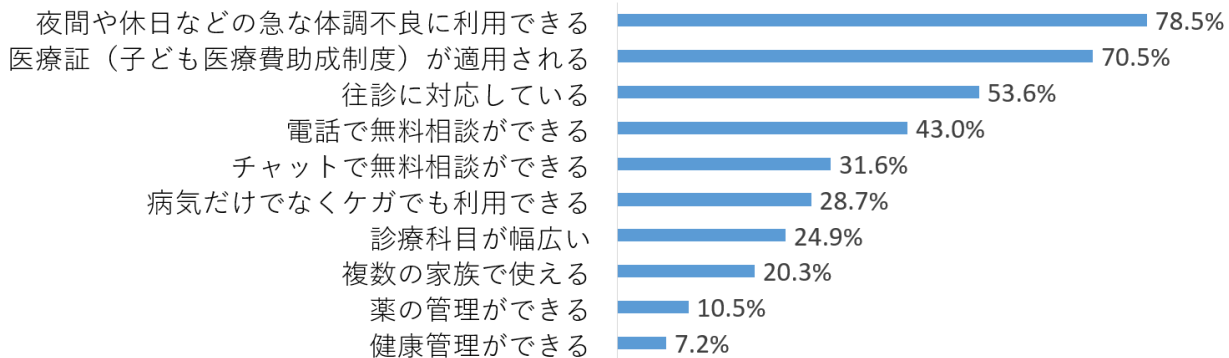
Q 子どもの急な体調不良で夜間・救急診療を利用する頻度は？（n=358）



■「オンライン診療・往診サービス」、夜間・休日に利用できることに高評価が

子どもの体調不良の場合に利用できる「オンライン診療・往診サービス」（アプリ・Webなどで登録し、医者によるオンライン診察や往診を受けられるサービス）を「知っている」と回答した人は69.6%。そのうち、「興味がある」と回答した人は83.1%にのびります。どういった点に魅力を感じるかについて最も多かったのは「夜間や休日などの急な体調不良に利用できる」で78.5%、次に「医療証が適用される」で70.5%となり、「万一のときに利用できる」安心感と費用が高評価につながっているようです。

Q オンライン診療・往診サービスのどんな点に魅力を感じますか？（n=249、複数回答）

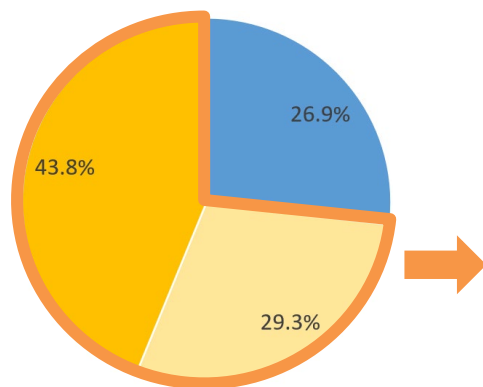


実際にアプリをダウンロードをして登録した人は26.9%、興味があってもダウンロードしない理由は「サービスがよくわかっていないから」

認知している人のうち、8割以上のママたちが興味があり、魅力を感じているにもかかわらず、実際にダウンロード・登録した人は26.9%。「今はまだ検討中」29.3%を含めると約7割はダウンロード・登録するまでには至っていません。ダウンロード・登録していない人の理由で1位にあがったのが「サービスがよくわかっていないから」。2位は「利用料が高かかりそうだから」でした。

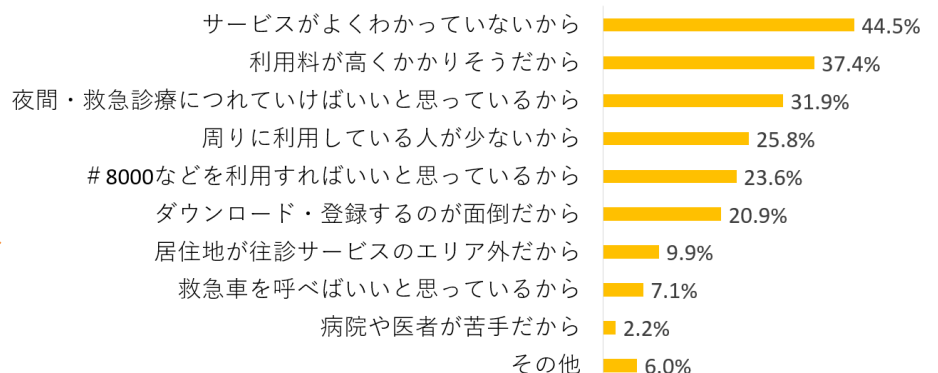
コロナ禍を経て台頭してきた「オンライン診療・往診」サービス。事前にダウンロード・登録をして利用する、という新しいサービスなだけに、普及のカギは、内容や費用を含めた詳細なサービスのより丁寧な説明ではないでしょうか。夜間・救急診療や救急車の利用のほか、第2、第3の「いざというときのヘルプ」となるよう、理解が深まっていくことが重要といえそうです。

Q.「オンライン診療・往診サービス」のアプリをダウンロード、もしくは登録したことがありますか？（n=249）



- はい
- 今はまだだが検討中
- いいえ

◇ダウンロード、または登録していない理由を教えてください（n=182、複数回答）



■「ファストドクター」がダウンロード・登録率、利用率ともに1位に

こどもリサーチでは、2023年10月に全国の子どもがいるWeb 会員を対象に「オンライン診療・往診サービス」についての調査を実施したところ、「ダウンロード・登録率」「利用率」ともに、いずれも「ファストドクター」が1位という結果になりました。

【全国のママ・パパが選ぶ「オンライン診療・往診サービス」ダウンロード・登録率トップ3】

- 第1位 ファストドクター
- 第2位 みてねコールドクター
- 第3位 キッズドクター

【全国のママ・パパが選ぶ「オンライン診療・往診サービス」利用率トップ3】

- 第1位 ファストドクター
- 第2位 みてねコールドクター
- 第3位 キッズドクター

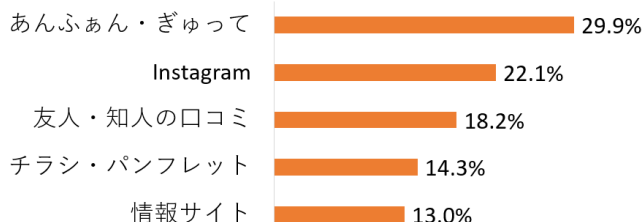


こどもりびんぐ発行の未就学児のパパ・ママ向け情報誌「あんふあん」「ぎゅって」が情報源に

「オンライン診療・往診サービス」をダウンロード・登録した際に情報収集として参考にしたものを聞いたところ、トップはこどもりびんぐ発行の「あんふあん」「ぎゅって」。ママ・パパ世代が内容にきちんと目を通し読んでいることが分かります。

登録・ダウンロードした人のうち、実際に利用をしたことがある人は54.6%。利用した人のうち、90.5%は「今後も引き続き利用したい」と回答していて、満足度の高さがうかがえます。

◇ダウンロード・登録したときの情報収集で参考にしたものTOP5（複数回答）



【調査概要】期間：2023.10.3～14 「あんふあんWeb」「ぎゅってWeb」会員、こどもりびんぐアンケート会員に対しWebで調査を実施／調査対象：あんよ（ジークス）／おうち病院オンライン診療（アナムネ）／KAITOS（東邦薬品）／CARADAオンライン診療（エムティーアイ）／キッズドクター（ノースター）／CLINICS（メドレー）／curon（マイシン）／SOKUYAKU（ジェイフロンティア）／Door. into 健康医療相談（MRT）／ファストドクター（ファストドクター）／ポケットドクター（オプティム・MRT）／みてねコールドクター（コールドクター）／LINEドクター（LINE・エムスリー）／その他（五十音順）

【回答者プロフィール】全国の子どもがいる577人（男性10.7%、女性89.3%）年代：20代以下3.7%、30代49.7%、40代40.0%、50代以上6.6%、独身4.2%、既婚95.8%

※データは小数点2位以下四捨五入のため100%にならない場合があります

株式会社こどもりびんぐは、小学館グループで園児とママ・パパ向け情報誌「あんふあん」「ぎゅって」の発行、ウーマンリサーチ・こどもリサーチなどの「リサーチ事業」を展開するメディア事業者です。今後もこどもリサーチでは、さまざまなテーマで調査を実施し、子育て中のママ・パパのインサイトなどを分析・報告してまいります。また、第1位を受賞された企業には、受賞ロゴ・調査データ活用のご提案もしております。受賞ロゴは店頭ツール・商談資料・ブランドサイト・SEO対策等、幅広くご活用いただけます。詳しくはお問い合わせください。

調査項目は、右記二次元コードからダウンロードも可能です。



■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社こどもりびんぐ シルミル研究所 担当：相良

TEL：03-5244-5761 E-mail：kodomo.research@kodomoliving.co.jp

<https://kodomoliving.co.jp/> ※そのほかの調査データも紹介しています